

ながよ支えあい通信

令和5年6月発行 NO.7



地 域 活 動 紹 介

西高田おしゃべりお茶会

場 所： 西高田防災センター
日 時： 毎月24日 午後2～4時
内 容： 小物作りや茶話会
参加費： 100円

活動のきっかけや内容は？

R3年5～6月頃、「天寿会（老人クラブ）にない活動ができないか？」ということで、高齢者の引きこもり防止を目的に西高田自治会の高齢者部門活動として、天寿会代表である井上氏が婦人会と茶話会を始めました。毎月、自治会の班回覧で、参加を呼び掛けています。みんなで手作業をしたり、映画鑑賞をしたり、楽しくおしゃべりをしています。

4月は、こどもの日に向けてみんなと一緒に「こいのぼり」作りをしました。竹は、参加者の家の裏の山からとってきたものを利用。個性豊かな鯉がたくさんあり、「あら！あなたの素敵ね！」と互いに褒め合い素敵な時間が流れていました。みんなに開催日を覚えてもらえるよう「西高田」の「にし」の語呂合わせで、毎月24日の午後2時から4時に開催しています。



参加者の声

- ・「家で手作業等しないけど、みんなと話しながらすると楽しくやれる」
- ・「12月は、クリスマスリースを作って、今も大事にとっているのよ」
- ・「我が家の竹は、こいのぼりの他にも長与ニュータウン中央区の鬼火焚きに提供したとよ！昔は西高田もしてたけど今はしてないんだよね」と懐かしそうに語られていました。



取材を通じ、地域住民同士の支えあいや他の地域や団体との繋がりがわかり、様々な支えあいを感じました！（生活支援コーディネーター感想）

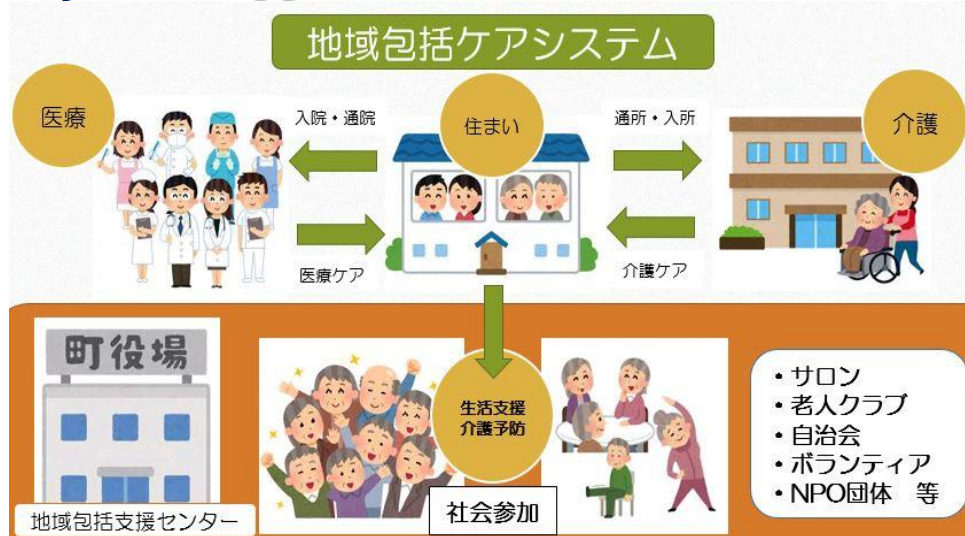


ウラに続く

長与町では、住み慣れた地域で安心して暮らすための取り組みを進めています。地域の支え合い、生活支援の仕組みづくりを行うため『支えあい「ながよ」推進協議体』が発足しています。

支えあいって何？

シリーズ③ 地域包括ケアシステムについて



地域包括ケアシステムとは、住み慣れた住まいを中心に、病気になった時は、すぐに医療が受けられる体制、介護が必要になった時は必要な介護サービスが受けられる体制、そして、公的な支援だけでは補うことができないところを補完する、生活支援や介護予防の取り組みに参加できる体制で、この3つがおおよそ住まいから30分以内の範囲（国は中学校区単位くらいを想定）で完結する体制づくりを目指しています。少子高齢化に伴い、担い手不足問題があり、今後、十分なサービスを受けることが難しくなると予想されています。誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みの一つとして、住民同士が支え合う地域づくりが必要不可欠となってきます。

長与ニュータウン中央区自治会にて「支えあい」講話実施

3月25日（土）に、長与ニュータウン防災センターにて社会福祉協議会より「住民参加とまちづくり」について、介護保険課より「支えあい」について講話を実施しました。自分の地域の活動を知り、その活動は、支えあいあつての活動であることを改めて感じていただきました。支えあい講話にご興味がある方は、介護保険課までお問合せ下さい。



皆様と一緒に支えあい活動を推進します！

生活支援コーディネーター

小林 由起（長与町地域包括支援センター）

山口 沙起（長与町社会福祉協議会）

発行：長与町役場介護保険課 TEL：883-1111